学会記事

日本きのこ学会Ｒ＆Ｄツアー（2026年度）報告

日本きのこ学会Ｒ＆Ｄツアーを2026年9月2日（水）に，一正蒲鉾株式会社（新潟県新潟市東区）ならびに今代司酒造株式会社（新潟県新潟市中央区）のご協力のもと開催いたしましたので，報告いたします．

例年にならい，会員の皆様が参加しやすいよう，年次大会の翌日にツアーを開催いたしました．今年度のツアーには，大学，公設試験研究機関，企業からの研究者，学生，スタッフを合わせ，総勢33名が参加しました．事前の参加希望者が多かったものの，今代司酒造株式会社の見学人数に制限があったため，参加者数は昨年度より少なくなりました．抽選により参加いただけなかった学会員の皆様には，この場をお借りしてお詫び申し上げます．

最初の訪問先である一正蒲鉾株式会社は，1965年に新潟市で創業した水産練製品メーカーです．1979年に発売したカニ風味かまぼこ「オホーツク」が大ヒットし，全国に「一正」ブランドを広めました．その後も「サラダスティック」や，近年では，うなぎの蒲焼を魚のすり身で再現した「うな次郎」など，伝統にとらわれない商品を次々と開発されています．さらに，皆様ご存じのとおり，マイタケの栽培および研究開発にも取り組むなど，幅広い事業を展開されています．

和田祐樹氏（取締役常務執行役員）からは企業理念や会社の歴史について，また石川義成氏（マーケティング開発本部 商品開発部 次長）からは商品開発を中心に，それぞれ動画を交えたプレゼンテーションをしていただきました．企業紹介や商品開発に関する説明では，多数の商品の試食も用意され，さらに開発サンプルに関するクイズまで実施していただきました．加えて，一正蒲鉾株式会社の本社周辺で観察されるきのこについて，写真を交えた紹介もありました．その後，動画で紹介された練り製品工場を見学させていただきました．



和田氏による一正蒲鉾株式会社の紹介



石川氏による商品開発に関するプレゼンテーション



今世司酒造の酒造りについて説明

プレゼンテーションや工場見学の際には，参加者からの質問にその都度丁寧にお答えいただいたため，予定を大幅に上回る充実した見学となりました．その結果，昼食時間を短縮せざるを得ない状況となりましたが，それだけ参加者の関心が高く，ツアーは大変盛況となりました．また，参加者全員にお土産までご用意いただきました．

昼食はピア万代にて短時間で済ませ，次の訪問先である今代司酒造株式会社へ移動しました．今代司酒造株式会社は，1767年創業，新潟市沼垂の地で250年以上の歴史を刻む老舗酒蔵です．酒造りへの誠実な姿勢を受け継ぎながら，現代的な発想を取り入れた商品開発にも積極的に取り組んでいます．代表銘柄の一つである「錦鯉」は2015年に誕生しました．新潟発祥の錦鯉をモチーフとした美しいボトルデザインと確かな味わいが国内外で高く評価され，同社を代表する人気商品となっています．

今代司酒造では，専門ガイドによる解説付きの酒蔵見学に参加しました．貯蔵タンク，圧搾器（酒搾り器），火入れ工程，歴代の商品などについて，大人数での見学にもかかわらず，一つ一つ丁寧に解説していただきました．見学後

には，日本酒の試飲も楽しませていただきました．複数の銘柄を自由に試飲できる形式で，参加者はそれぞれ興味のある銘柄を味わいながら，酒造りについての理解を深めることができました．

その後，新潟駅前にて無事に解散となり，終始活気にあふれた，非常に充実したツアーとなりました．



日本酒試飲の様子

最後になりましたが，今回のツアーの調整・運営に多大なご尽力をいただきました一正蒲鉾株式会社の川口信久先生，沼田史江先生，新潟交通株式会社の安達様をはじめ，関係者の皆様に心より感謝申し上げます．

2026 年度 R & D ツアー：
改めて考える「きのこの六次産業化―食品工場視察及び商品開発者との交流会―」

2026 年 9 月 2 日（水）

8：50 – 9：00	新潟駅南口　集合
9：00	新潟駅出発
9：30 – 12：00	一正蒲鉾株式会社本社 （新潟市東区津島屋7–77）
12：10 – 13：10	昼食：ピア万代
13：30 – 14：30	今代司（いまよつかさ）酒造見学 （新潟市中央区鏡が岡1–1）
14：30 頃	新潟駅南口　解散

記：近畿大学農学部　福田泰久



集合写真（一正蒲鉾株式会社　本社にて）